

市政を問う！

一般質問

3月定例会では3月14・16・17日の3日間で13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



一般質問

三輪 かずよし 議員（無所属）

犯罪被害者等支援に関する条例制定について

議員 近隣市では多くの自治体にて制定されているが、本市での検討はどのようなか。

市民生活部長 県や警察署の担当部署と情報共有を図りながら、他市の動向や内容の調査・研究を行っている。より実効性のある施策となるよう、令和5年度中の制定に向けて取り組みを進めている。

議員 平成30年12月定例会においてもこの条例について一般質問を行っているが、本市の制定が遅れている原因は。

市民生活部長 本市では、被災災害見舞金及び弔慰金の贈呈に関する条例において、第三者によって加えられた人為的行為の被害に対する見舞金の制度があることから、同条例における支援策との整理を行いつつ、より実情に沿った条例の内容となるよう検討を重ねてきたため、一定の時間を要している。

議員 犯罪の被害に遭った方やその家族の苦しみをどのように認識しているか。

市民生活部長 直接の被害を受けるだけでなく、大きな精神的苦痛を受けるといった二次的被害の発生も多数見受けられる。相談体制や経済的支援等、被害者に寄り添った支援を行うことは、行政としての責務であると認識している。

市長 犯罪被害者の支援は、寄り添いながらいろいろな機関が連携して一定期間サポートをしていくことが大事である。支援を拡充して、誰もが安心して住み続けられるまちにしていきたい。

信濃わらび山荘の存続について

議員 信濃わらび山荘は老朽化が目立ってきている。今後の方向性についてどのような検討がなされているか。

教育長 市民意識調査の後、聞き取り調査や信濃わらび山荘の在り方庁内検討委員会を設けて検討してきた。現在は、担当課で具体的な対応等について検討を行っており、今後



みわ かずよし



今後の方向性の検討が進む信濃わらび山荘

議員 結論はいつ頃出るのか。
教育長 今年度中に結論が出る可能性がある。検討したい。
市長 仮に廃止となっても、子どもたちが自然に触れ合える、あるいは市民が保養できるような代替措置も考えていく必要がある。しっかりと対応し、判断していきたい。

議員 ランニングコストを考えると、それぞれの団体に合った施設での利用を促し補助金を支給することを要望する。

○ここに掲載されている質問と答弁の内容は要約しています。

小林 利規 前議員（創誠会）

市長の5選出馬表明にあたっての基本姿勢について



こばやし りき

議員 市長の4期16年を振り返ってみて、多様な市民ニーズに対応しようと数々の施策が講じられたことは、多くの市民が認めるところである。

特に、財政健全化に向けての借入金金の減少、改善に取り組んできたことは評価に値する。他方、財政規律が緩んでいるのではないかと思われる節があり、特に新年度予算案に顕著に表れているのではないかと、市政運営について、「行政は経営なり」という言葉を再認識すべきと考えるがどうか。

市長 行政にとって一番大事なことは、市民の暮らしを支えることであり、これは必ずしも経営という言葉では解決できない課題だと考えている。同時に、経営の視点も非常に大事であり、特に最少の経費で最大の効果を上げることに、トップとしてスピード感を持って決断・実行すること、財政の健全化を図ることについて、これまでの市政運営の中で重視してきた。市の借金は、

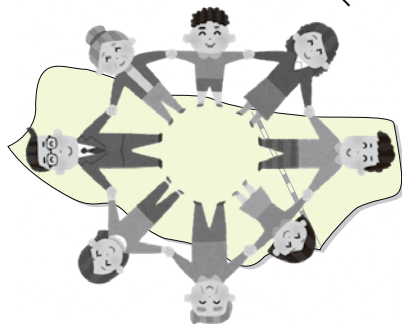
市長就任時から比べて73億円を減らすなどの努力を重ねており、暮らしを支えるという原点を大事にしながら、経営という視点を重視して、今後市政運営にあたりたい。

議員 この数年の市政運営については、蕨市の目指すまちなイメージが明確に描き切れていないのではないかと感じている。市長は、5選出馬にあたり、蕨市のまちづくりをどう描いているのか。

市長 まちづくりのビジョンとして、1つ目はコロナ禍や物価高騰への対策をしつかりと行い、市民生活を守り抜く市政を継続・発展させていきたい。2つ目は、これまでの成果の上に立ち、蕨市は大きな飛躍のときを迎えていると考えている。具体的には、市立病院の建て替えと健康に向けたまちづくり、人口減少社会にあっても子育て世帯が住みたいと思えるまちづくり、駅周辺にと

どまらずまち全体が楽しく活気があるまちづくり、防災都市に加えて環境問題においても先進的なまちづくり、こうしたビジョンを持って市政運営にあたりたい。外から見ても「選ばれるまち」とは、実際に住んでいる方が愛着を持ち、住みやすいと思ってくれたことだと考えている。この選ばれるまちづくりを加速化させていきたい。

議員 蕨市がさらなる発展を遂げるために、市長選挙があり、市民の選んだ方が必要となる。今後の蕨市政が明るく、円滑に進むことを望んでいる。



誰もが住みやすいまちとなるように市政の発展を

根本 浩 議員（公明党）

リカレント教育充実のために

議員 リカレント教育は、教育と経済活動が相まった取り組みと考えられている。本市で実施しているスマホ教室について、リカレント教育の一環と考えており、スマホ教室を充実させるために、指導者側にもOSの使用を指導する必要があると思うがどうか。

総務部長 令和4年度に開催したスマホ教室の講師は、OSのみならず、スマートフォン全般の知識があるスマホアドバイザーに依頼をした。令和5年度についても、引き続きデジタルデバイドの解消を目的としたスマホ教室の開催を予定している。

プランター農業の実施について

議員 ケアハウス松原の入居者にプランター農業体験を実施してはどうか。

健康福祉部長 プランター農業体験は、高齢者の生きがいづくりに効果があるほか、余暇活動の一環として有意義な



小スペースを活用したプランター農業の実施を

ものであると考える。実施する場所や利用希望者の把握など、実施方法について検討していきたい。

議員 ファミリー菜園の抽選にもれた方へのプランター貸し出し（支給）などを実施してはどうか。

市民生活部長 プランター農業は、手軽に野菜作りが体験できるほか、日差しを遮る緑のカーテンづくり等、環境に優しい取り組みにも活用できることから、幅広い需要が見込まれる。ファミリー菜園の抽選にもれた方にとまらず、



ねもと ひろし

プランター農業に対する市民のニーズを把握するため、まずは専門知識を有した方を講師に招き、自宅で行えるプランター農業の講座開催に向けて取り組んでいく。

新庁舎への車の出入りについて

議員 現在、中山道と県道の交差点から和樂備神社にかけて道路が混雑していることがある。今後、市役所の出入口となる場所でもあるが、新庁舎への車の出入りについてどのように検討しているのか。

総務部長 安全性と混雑緩和を考慮し、玄関庭や通り庭等の歩行空間とは分離させて車両出入口を設けている。また、周辺にはわかりやすい路面標示や案内看板を設置するほか、入り口と出口を分離した見通しのよい車両出入口とする計画となっている。

ほかに 「災害時の指定避難所等における体制表の明確化」等について質問。

日本一のエコシティを 目指す取り組みについて

議員 第3次「蕨市環境基本計画」が策定された。これは地方自治体が定める環境の保全に関する基本的な計画であるが、本計画の重点プロジェクトの5「ゼロカーボンシティ宣言」の中に「日本一のエコシティわらびを発信」とある。本市は環境先進自治体ではなく、どちらかというと遅れているイメージのほうが強いが、本計画の内容はどうか。

市民生活部長 令和5年度から14年度までの10年間の計画期間とし、地球温暖化や気候変動をはじめ、多様化、複雑化した環境問題に対応するため、脱炭素社会に向けた取り組みのほか、身近な生活環境に関する課題への対策など、各種施策を盛り込んでおり、望ましい環境像を「みんなが未来へつなぐ、快適で持続可能なまち わらび〜日本一のエコシティわらびへ〜」とし、その実現に向けて5つの重点プロジェクトをはじめ、5つの基本目標、13の取り組み方

針、33の環境施策を掲げる内容となっている。

議員 近隣市の同計画に掲げている項目で、本市の計画には掲げていない項目がたくさんある。日本一を目指すのであれば、しっかりと取り組んでほしい。

塚越児童館の雨漏りについて

議員 塚越児童館は雨漏りの影響から、部屋によってはカビのおおいが漂い、ひどいところでは床板が朽ち果て、指1本で床材が持ち上がるような状態である。これまでの修繕は長期的な雨漏りの根本的な解決になっているのか。

健康福祉部長 これまで建築課や施工業者などと協議の上、雨漏りの原因究明に取り組むとともに、必要な対応策を講じてきたが、更なる根本的な解決を図るため、令和5年度には、北側を除く外壁のシーリングの打ち替え等を行う防水改修工事を梅雨の時期まで



ふるかわ あゆみ



塚越児童館の床はカビでボロボロでした

の早期実施を目指して、準備を進めているところである。

議員 健康被害について考えたことがあるのか。

健康福祉部長 雨漏りが発生すると、カビやダニなどが繁殖しやすくなるなど、不衛生な環境をもたらすし、健康被害が懸念される。塚越児童館では、これまで晴れた日は窓を開けて通気をよくしたり、雨漏り箇所をシートで覆つなどの対応をしてきたが、先行して実施した床張り替えの修繕とともに、外壁改修工事を迅速に進めていきたい。

一般質問

物価高騰からくらしを守る 相談・支援の拡充を



生活困窮などの総合的な相談窓口・生活自立相談支援センター

と緊密な連携を図っており、生活困窮の総合的な相談窓口として引き続き広報に努める。

議員 「お困りの方は相談を」との呼びかけを日常的に行つことが重要。市ホームページでは常に先頭近くに表示されるよう要望する。ところで、民間賃貸住宅家賃助成などの制度を、非課税と同等の状況で利用できるよう要件緩和を検討してはどうか。

健康福祉部長 支援策の一つとして有効だが、要件の基準やその根拠を慎重に検討する必要がある。先進事例など調査・研究したい。

障がい者入所施設の整備、住まいの確保を

議員 障がい者入所施設の市内待機者数はどうか。

健康福祉部長 1月1日現在の待機者数は、知的障害のある方が21人、身体障害のある方が1人で、やや増加傾向に



すずき さとし

ある。

議員 市内・近隣への施設整備についての研究・検討状況及び今後の対応はどうか。

健康福祉部長 以前から切実な声をいただき必要性は十分認識している。4年度は、近隣自治体や2つの社会福祉法人と入所施設整備に向けた情報交換を行った。整備主体となる法人、土地、建設資金の確保が課題だが、市が対応できる可能性のあるものは、引き続き研究・検討に努めたい。

市長 介助する家族の方が高齢となるなどの事情もあり、切実な問題と認識。施設の運営事業者などともより踏み込んだ検討・協議をしてきたが、土地の問題が最大の課題となっている。市内、近隣の整備の可能性については努力を継続する。また、やむを得ず遠くの施設を利用する際の支援（交通費など）の在り方についても検討したい。

ほかに 「安全で快適な住環境整備」について質問。

高齢者の未来に希望はあるか

介護予防や認知症対策の進捗状況を問う



おおishi けいこ

議員 団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者になる令和7年度に向けての地域包括ケアシステムの進捗状況について、コロナ禍における介護保険利用への影響はどのようなか。

健康福祉部長 コロナ禍での生活の変化による心身機能の低下や精神面の不調等の影響があったと考えられる。

議員 地域包括支援センターの活動評価はどのようなか。また、在宅医療・介護の連携における課題は何か。

健康福祉部長 全国で統一して用いる評価指標及び定例会に基づき、業務の実施状況を把握するとともに、業務の重点化、効率化を進める上で課題を把握する等、必要な活動評価を実施している。連携の課題については、市民向けの在宅医療講演会において参加者数が少ないため、より参加しやすい環境づくりや周知方法について、改めて検討していきたいと考えている。

「認知症への取り組み」が必須の重点項目かと思われるが、市の見解は。

健康福祉部長 計画づくりの参考とするため、アンケート調査を実施し、分析している。また、国より計画策定の方針が示される予定であり、それらを踏まえ、改めて重点項目を検討する。後期高齢者が今後も増加する見込みであるため、引き続き重要な課題であると考えている。

早期の発達障害児支援について

健康福祉部長 全国で統一して用いる評価指標及び定例会に基づき、業務の実施状況を把握するとともに、業務の重点化、効率化を進める上で課題を把握する等、必要な活動評価を実施している。連携の課題については、市民向けの在宅医療講演会において参加者数が少ないため、より参加しやすい環境づくりや周知方法について、改めて検討していきたいと考えている。

健康福祉部長 地域包括支援センターからアドバイスを行うっており、令和5年度は引き続き開設支援に向けて取り組んでいきたい。

議員 第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定では、「介護予防」と



認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター「ロバ隊長」

認知症サポーターは認知症の人やその家族を支え見守る応援者です。

すべての人にやさしいまちづくりのいっそうの推進を



たけした りょう

議員 新たに策定される地域福祉計画は、蕨市の今後の福祉のあり方にも大きな影響を与える。幅広い市民の参加が重要だと考えるがどうか。

健康福祉部長 地域福祉計画の策定過程においては、市民アンケート等を実施するほか、学識経験者や社会福祉関係団体の代表者、公募市民、市職員等で構成される策定委員会を設け、検討等を実施していく予定である。また、ワークショップも考えている。

議員 ワークショップも含め、広く募集をするようにしていただきたい。

健康福祉部長 バリアフリー・ユニバーサルデザインは、福祉の領域だけでなく、様々な分野に関連する。本市として、バリアフリー・ユニバーサル推進計画を策定する考えは。

総務部長 計画化については、研究課題として捉えたい。

市長 非常に大事なテーマだと思っている。すべての人にやさしいまちづくり、それが全体に資するような仕組みを考えていきたい。

議員 蕨市内は坂道が少なく、狭い道幅と呼ばれる道幅の比較的狭い道が多い。車いす等、移動を制約される方を支援する「バリアフリーマップ」の活用についてどのように考えるか。

健康福祉部長 他団体の取り組みを参考に、既存のマップの更新時等においてより親切的な

情報を取り入れていきたい。

「ぷらつとわらび 利用促進マイ時刻表作成支援」を

議員 外出・移動支援として「ぷらつとわらび」について、「ルート拡充され良かった。ただ、乗り継ぎに不安」という声を聞く。「マイ時刻表作成支援」や「私の活用方法」を発信していくのはどうか。

市民生活部長 乗り継ぎが不安な方へ有効であると認識している。導入事例等も踏まえ、今後検討していく。

近年の不審者侵入事件から市民防犯教室・防犯計画の拡充を

議員 危機管理を学ぶため、専門家の下で護身について指導を受けてきたが、近年の犯罪を踏まえ、防犯教室、本市防犯計画の拡充が必要と考えるがどうか。

市民生活部長 犯罪の手法をしっかりと研究し、特性を十分に考慮した防犯計画の内容となるよう検討する。

ロナルド・メイス氏のユニバーサルデザイン 7つの原則

1. 誰もが不利になることなく、みんなが公平に利用できること
2. 難しい説明を読まなくても使い方がすぐにわかること
3. 無理な体勢をとることなく、少ない力で楽に使えること
4. 必要な情報がすぐ理解できること
5. 利用するうえでの自由度・柔軟性が高いこと
6. うっかりミスをおかしづらく、ミスをおかしても直ちに危険につながらないこと
7. 利用しやすい大きさや広さが確保されていること

一般質問では以上の観点から、すでに実施している施策と併せて市としての全体計画策定をもとめ、他市の事例を紹介。

パートナーシップ制度2023年度に確立、ジェンダー平等社会の実現に向けて今、蔵市ができること

議員 本市のジェンダー平等についての考え方や特徴はどのようなものか。

市民生活部長 男女共同参画パートナーシッププラン後期計画の中で「性の理解・尊重と生涯にわたる健康づくり」を課題として位置づけ、施策においては、LGBTなどの性的少数者といった性の多様性についての理解促進を行う。これまで講演会や研修会など、ジェンダー平等や性的マイノリティに関わる理解促進を図り、今後も各種事業で一人ひとりの人権を尊重し責任を分かち合い、性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる地域社会づくりを進めたい。

総務部長 育休や部分休業の取得向上を目指して取り組みを進めていきたい。

議員 性別にとらわれず「自



みやした なみ

分らしき」を大切にできるように、市職員、特に保育・教育の分野で研修を行ってほしいと要望する。

LGBTQ・性的マイノリティの方々が暮らしやすい地域づくりを

議員 本市での主な取組みとして、研修の実施や教育現場では多様性が認められる制服の導入、パートナーシップ制度の創設などをこれまで要望してきたが、どのようなか。

教育部長 制服は、第二中学校が導入し、他の中学校もスカートとスラックスを選択できるようにするなど、段階的に対応を進めている。

市民生活部長 2月に市民向けの研修として「みんなが自分らしく暮らせるまちへ」と題した講演会など行った。パートナーシップ制度については、令和5年度中にこの制度を確立していきたい。

ほかに 「性犯罪防止対策と男女共同参画の視点からの地域防災」について質問。

一般事務職員（教職員・学芸員を除く）					
職員数	20代	30代	40代	50代	60代
男性	42人	59人	61人	29人	5人
女性	22人	20人	37人	9人	1人
育休取得	2020年度	2021年度	2022年度	取得期間（過去5年間で）	
男性	1人/7.1%	0人/0%	4人/22.2%	1ヶ月未満が最多	
女性	16人/100%	10人/100%	15人/100%	2～3年が最多	
部分休業（時短勤務）	2020年度	2021年度	2022年度		
男性	0人	0人	1人		
女性	12人	16人	15人		

※一般質問の中で示された数字

一般質問

消費者行政について なくならない被害

時代にあった消費生活などの啓発活動を期待する

議員 消費者行政とは、消費者である市民の立場に立った権利や利益を守るための法律や規制の制定、不当な商行為や偽りの広告などを監視して消費者を保護し、公正な取引を促進することを目的とした行政活動のことである。さらに、消費者が自分の権利を理解して、正しい行動が取れるようにすることも含まれている。近年では、高齢者だけでなく、大学生など、若者の被害も増え、いわゆるマルチ商法のようないくつか、就活、

議員 消費者行政とは、消費者である市民の立場に立った権利や利益を守るための法律や規制の制定、不当な商行為や偽りの広告などを監視して消費者を保護し、公正な取引を促進することを目的とした行政活動のことである。さらに、消費者が自分の権利を理解して、正しい行動が取れるようにすることも含まれている。近年では、高齢者だけでなく、大学生など、若者の被害も増え、いわゆるマルチ商法のようないくつか、就活、

市民生活部長 令和4年4月から5年2月末日までの相談件数は261件で、主な相談内容としては、コロナ禍において在宅している時間も多いため、インターネット通販に関する相談が一番多く、次いで商品購入等の解約に関する相談が多い傾向にある。

議員 消費者行政は、被害の報告、相談窓口だけではなく、消費者の危機管理の啓発も大切である。市民への啓発活動はどのようなか。

市民生活部長 毎年、悪質商法や新成人が陥りやすいトラブルの対処法など、消費者トラブルの対策に役立つ情報をまとめた啓発冊子「くらしの豆知識」を作成して配布している。

議員 食に関する問題や環境問題、住宅の問題などのテーマは、SDGsにつながる部分が多々ある。今の時代にあった新しい形での発信・啓発ができるような「消費生活展」の開催を希望している。

市民生活部長 これまで消費生活展の実施主体として活動していた蔵びがし生活学校が解散しており、担当課としては、次年度以降の消費生活展について、近年話題となつて

議員 50年以上の歴史がある「消費生活展」が令和4年度は開催できなかった。今年度の開催内容等はどのように考えているのか。

市民生活部長 今後、出前講座の実施や新成人には消費啓発リーフレットを作成し、自宅に送付するなど、幅広い方々への周知・啓発に努めている。



まえかわ やすえ



消費者への危機管理の啓発が大切！

消費者への危機管理の啓発が大切！

消費者への危機管理の啓発が大切！

本田 てい子 議員（公明党）

「こころの体温計」で 心の健康をサポート

議員 心のSOSサインを感じたときには「こころの体温計」で心の健康を確認することが出来る。こころの体温計は携帯やパソコンで気軽に利用できるように、様々な自治体のホームページでも活用されている。本市も活用して心のサポートを行ってはどうか。

健康福祉部長 日々変化する心の状態をセルフチェックすることは、メンタルヘルスの不調に対する予防や早期受診のきっかけになる等のメリットがある。活用については、他の自治体の利用実態やその効果等の確認も含め

て調査・研究していきたい。
議員 温かい支援につながることを願っている。

多文化共生のまちづくりについて

議員 外国人住民も参加する避難所運営訓練を開催してはどうか。

市民生活部長 現在の避難所運営訓練において、外国人住民の参加について制限はしていないが、実績としてほぼ参加が見受けられていない。自主防災会内で外国人住民へも積極的に声をかけていただくとともに、本市としても必要な情報収集や広報活動を行い、参加を促進していきたい。また、今までは防災訓練等の開催について日本語での紹介のみであったが、今後は工夫しながら案内していきたい。

スマホで気軽に診断できる「こころの体温計」の導入を（こころの体温計のサンプル画像）

議員 ピクトグラムを活用した避難所案内板を設置してはどうか。



ほんだ ていこ

市民生活部長 令和2年に設置した想定浸水深表示についてはピクトグラムを使用しているが、案内板等のほとんどが20年以上経過しており、ピクトグラムを使用していない。今後、更新の際にはピクトグラムの活用も含め、すべての人にとってわかりやすい表示方法を検討する。

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の補助金について

議員 補助申請をもっと簡単にできるように見直しをしてはどうか。

市民生活部長 申請方法については事業開始時に県の補助制度を活用していたことからその手続きにならない交付を行っている。申請者においては、手術費に係る一定の自己負担が発生するが、近年は申請件数の減少や申請者の固定化といった状況も見られることから、補助に対するニーズを的確に判断した上で、今後の事業運営を検討していく。

榎本 和孝 議員（無所属）

駅前再開発の公共施設 は魅力のある施設に

議員 再開発ビルに入る図書館の概要の見直しは。

教育長 カフェを入れる予定だが確定はしておらず、事業者からヒヤリングをしている。また、閲覧・学習ゾーンの整備、子どもエリアの整備など、本の貸し出しにとどまらず、滞在型スペースとしたい。

議員 読んだ本が記録できる読書通帳を発行してはどうか。

市長 子どもたちが本を読むきっかけになるということであれば、積極的に考えたい。

議員 赤ちゃんの絵本をプレゼントするブックスタート事業のときに一緒に読書通帳を渡して図書館に来るきっかけ作りを。また、駐車場・駐輪場についてはどのような見直しか。

都市整備部長 公共公益施設や商業施設用として駐車場28台、駐輪場360台を計画している。

議員 いつも満車で図書館利用者が見守り、安全な登下校となるようにした。

（仮）わらびガチャの導入を

議員 蔵のグッズ等を一堂に置くことはできないか。

市民生活部長 蔵駅前にセレクトショップを設置している。品数の種類の拡大を目指す。

議員 現在、当該ガチャが流れている。300円程度を入れるとカプセル入りおもちゃなどが出る（仮）わらびガチャを導入してはどうか。

市民生活部長 楽しい試みであり、関係各所と検討したい。

子どもたちの安全対策を万全に

議員 最近、近隣で起こった事件を受けての本市の対応は。

教育長 全校へ事件発生時の周知、集団下校や見回りの指示のほか、保護者や地域ボランティアへの協力依頼など、多くの人員で見守り、安全な登下校となるようにした。

議員 児童・生徒も参加する



えのもと かずたか

不審者侵入対策訓練の実施状況は。

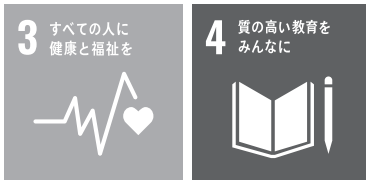
教育長 蔵警察署の協力で、不審者が教室に侵入したという想定で、教員の指示のもと侵入された教室の児童が校庭に避難し、防犯システムで参加した教員がさまたで不審者との対峙、他の教室は施設するなどの訓練を行っている。

議員 地域が協力する「こども110番の家」を増やすことは評価できるが、依頼したお宅へのその後のフォローはどうか。

教育長 年に一度、担当者がお礼の文書とともに継続の意思確認をしている。



魅力ある図書館になってほしい



ヤングケアラーの問題はSDGsとも深い関係がある

今井 陽子 議員（令政クラブ）

ヤングケアラー支援に対して 本市の姿勢を問う

ヤングケアラーの実態把握の必要性について

議員 ヤングケアラーの把握はどのようなか。

教育長 市内の小・中学校においては、定期的に面談やアンケート調査等を実施し、ヤングケアラーの把握や早期対応に努めている。また、県から発行されたハンドブックを配布し、理解の促進を図っている。関連部署等と情報共有しながら、詳細な現状把握と今後の対応について検討している。

議員 ヤングケアラーの抱える問題をどのようなものと認識しているか。

識しているか。

健康福祉部長 児童が家事や家族の世話等のケアを日常的に担うことにより、学業をはじめ生活全般に影響が生じ、場合によっては進学や就職が困難になることや、自身がヤングケアラーであることの自覚がないことが多く、潜在化しやすいことが問題であると認識している。

議員 現在行っている具体的な支援事業の内容は。また、その中で難しい点だと感じていることはあるか。

健康福祉部長 各部署が状況に応じた相談窓口となり、福祉サービスを利用したケア負担の軽減等、利用可能な支援につなげている。家庭内のデリケートな問題であること等を理由に、相談支援につなぐりにくいという難しさがある。ヤングケアラーと思われる子どもを把握した場合は、家族全体へのアプローチ、関係機関との連携が重要であると考えている。



いまい ようこ

本市の教育について

議員 本市教育振興基本計画の基本目標「学びあい高めあう学校教育の充実」が目指す児童・生徒像はどのようなか。また、そのような児童・生徒像の実現のために、具体的な教育活動の事例は。

教育長 知・徳・体の調和の取れた児童・生徒を育成することを目指している。また、外国語活動や外国語授業を充実させるとともに、国際理解教育に関する活動を推進している。

議員 教員の働き方改革や教育の充実につながるように、民間企業等との連携も視野に入れていただきたい。産官学民についてどう考えるか。

市長 民間企業の最新技術や人的支援も含めて導入し、教育の充実に生かしていきたい。また、教員への負担等も十分考慮しながら取り組んでいきたい。

一般質問

山脇 紀子 議員（日本共産党）

スマートウェルネスシティ（住民が健幸でくらせるまち）わらびへ

議員 第3次わらび健康アップ計画に、スマートウェルネスシティの構想がどう具体化されるのか。

健康福祉部長 ウォーキング習慣の確立が健康施策における同構想の具体化に寄与するものと考えている。少子高齢化・人口減少が急速に進む中、高齢になっても地域で元気にくらせる社会を実現するためには、健康で幸せなまちづくりの支援が求められている。健康施策のみならず、まちづくり全般の取り組みが必要と認識している。

議員 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の実施を。

健康福祉部長 補聴器の利用は、高齢者の生活の質を高め、健康の維持にも資するもの。財源の確保や実施方法、効果においても検討が必要である。

議員 ぶらっとわらびのEV化への検討と合わせて、さらに使いやすい市民の足としての拡充はどうか。

市民生活部長 地球温暖化対



市民の足である「ぶらっとわらび」をもっと使いやすく

策の一環としても、温室効果ガス削減に効果があることから、現在運行している車両の入れ替えのタイミングを見据え、他市の事例等を参考にしながら、導入に向けた調査・研究を進めていく。更なる利便性の向上を目指し、運行事業者と連携を図りながら、事業運営にあたっていく。

議員 福祉入浴券が使える浴場の拡充はどうか。

健康福祉部長 実施に向けては課題があるため、引き続き利用の実現に向けて実施方法等、検討・協議していきたい。

議員 スマートウェルネスシティ構築に向けて市長の決意



やまわき のりこ

はどうか。

市長 「くらしに安心・未来に希望を」を目指して、市立病院の建て替えやスマートウェルネスシティの構築で高齢者の皆さんが健康で幸せに暮らせるまちづくりを進めていきたい。ぶらっとわらびの活用や、ベンチや歩道の整備、補聴器購入補助制度も考えていく必要があると思う。健康で幸せに暮らせるまちに向けて、スマートウェルネスシティを将来ビジョンの柱に位置づけていきたい。

学校トイレの洋式化の推進を

教育部長 今後も、トイレ環境の整備を進め、児童・生徒の環境改善に努める。

市立図書館移転後の南町への図書館分館の設置を

教育部長 分館の機能を十分に果たせる施設を設置するよう検討していく。

令和5年3月定例会における議案に対する賛否結果

議案番号	議案名	令政 クラブ	日本 共産党	公明党	創誠会	無所属 (複数名議員)	結果
陳情第2号	国に対し「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	×	○	×	退席	○	不採択
陳情第3号	国や県に対して「学校給食の無償化を求める意見書」の提出を求める陳情	×	○	×	○	○	不採択
議案第1号	蕨市立病院建設基金条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	蕨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	蕨市自転車安全利用条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	蕨市総合社会福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	蕨市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	蕨市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	蕨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	蕨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	蕨市公共事業評価監視委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	蕨市特別市営住宅設置及び管理条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	令和4年度蕨市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	令和4年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	令和4年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	令和4年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	令和4年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	令和4年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	令和5年度蕨市一般会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	令和5年度蕨市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	令和5年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	令和5年度蕨市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	令和5年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	令和5年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	令和5年度蕨市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	令和5年度蕨市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	令和5年度蕨市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	教育委員会委員の任命の同意について	○	○	○	○	○	同意
議案第29号	財産の取得について（新庁舎備品（キャビネット））	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	財産の取得について（新庁舎備品（事務用机・椅子））	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	財産の取得について（新庁舎備品（カウンター））	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	財産の取得について（新庁舎備品（議場・委員会室備品））	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	財産の取得について（新庁舎備品（会議室・相談室備品））	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	令和5年度蕨市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号	哀悼決議	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第2号	議案第19号「令和5年度蕨市一般会計予算」に対する附帯決議	○	×	○	○	×	原案可決
議員提出議案第3号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決

※立憲民主党は採決の日に本会議を欠席したため、採決に参加していません。

※無所属（三輪議員）は議案第28号、議員提出議案第1号に賛成し、そのほかの議案等については採決の日に本会議を欠席したため、採決に参加していません。

※議案第1・13・21号、議員提出議案第2号については質疑が、陳情第2・3号、議案第19号、議員提出議案第2号については討論が行われました。質疑・討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。

政務活動費の領収書を公開しています !!

蕨市議会では、政務活動費の使途について、その透明性をより高めるために、蕨市議会ホームページにおいて令和4年度分の領収書等を公開しています。蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。なお、各会派等から提出された令和4年度政務活動費の収支報告は以下のとおりです。（議員1人当たり月額33,000円の政務活動費が交付されました。）

令和4年度政務活動費収支報告

(単位：円)

会 派 名	令政クラブ (5人)	日本共産党 (4人)	公明党 (3人)	日本維新の会・ 無所属連合 (2人)	創誠会 (2人)	立憲民主党 わらび (1人)
項 目						
交 付 額	1,980,000	1,584,000	1,188,000	660,000	726,000	396,000
調 査 研 究 費	0	0	0	24,946	0	0
研 修 費	110,970	3,110	100,000	0	0	0
広 報 費	1,609,255	746,570	218,100	111,650	225,925	143,501
広 聴 費	0	168,892	0	0	0	0
資 料 作 成 費	211,372	353,755	288,845	35,690	64,323	61,896
資 料 購 入 費	100,337	144,000	547,160	38,493	0	148,766
支 出 額	2,031,934	1,416,327	1,154,105	210,779	290,248	354,163
返 還 額	0	167,673	33,895	449,221	435,752	41,837

※日本維新の会・無所属連合は令和5年1月6日に会派を解散しています。

※創誠会は令和5年1月8日から会派人数が1人となっています。

※日本共産党は167,673円を、公明党は33,895円を、日本維新の会・無所属連合は449,221円を、創誠会は435,752円を、立憲民主党は41,837円をそれぞれ返還済みです。

※無所属（榎本議員は令和4年度の全て、三輪議員は令和5年2月・3月分）は政務活動費の交付申請をしていません。

会派構成が変わりました

令和5年3月31日付で、保谷武氏、小林利規氏の2名が埼玉県議会議員選挙に立候補したため、蕨市議会議員の職は自動失職となりました。会派構成に変更がありましたので、新たな会派構成を紹介します。（◎は会派代表者、敬称略）

令政クラブ 4名

◎前川やすえ 大石 圭子 古川 歩 今井 陽子

日本共産党蕨市議会議員団 4名

◎鈴木 智 山脇 紀子 宮下 奈美 武下 涼

蕨市公明党 3名

◎大石 幸一 根本 浩 本田てい子

立憲民主党わらび 一関 和一

無所属 三輪かずよし

無所属 榎本 和孝

6月定例会の日程（予定）

6月21日（水）開 会
 23日（金）議案質疑・委員会
 26日（月）委員会・分科会
 27日（火）委員会・分科会
 28日（水）委員会・分科会
 7月5日（水）一般質問
 6日（木）一般質問
 7日（金）一般質問・委員会
 11日（火）閉 会



※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

3月20日「6月発行号の概要、音声の議会だよりについて」

5月16日「6月発行号の最終確認、議会報告会について」

編集後記

7月19日に任期を終える現蕨市議会議員は、経験したことのないコロナ禍において、市民の命と健康を最優先する市議会運営を進めてまいりました。

市のイベントや学校行事、そして町会の催物等全てが中止となり、新しい日常に苦慮しながらも、電話やメール、距離を保った対面での相談、議会報告会をリモートで実施する等、工夫をしながら過ごす日々でした。

コロナが5類感染症に移行となり、新たな時代への変化の中、6月4日に蕨市議会議員選挙が行われます。市議会が、いよいよの決意で、市民のために勇躍前進してまいりたいと思います。

広報広聴委員会

委員長 古川 歩
 副委員長 宮下 奈美
 委員 今井 陽子
 大石 幸一 根本 和孝 榎本 和孝